

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

新型コロナウイルスの影響で世間が騒ぐ中、第105回薬剤師国家試験の合格発表がありました。国家試験後は「難しかった」と受験生は不安に思っていました。ふたを開けてみると、合格基準点が213点まで下がり、国家試験史上一番低い点数。合格率は69.58%で合格者9,958人と例年並みになりました。新卒の合格率は84.78%、既卒は42.67%とでしたが、メディセレは87.50%と、既卒でありながら新卒の合格率を超えるほど頑張ってくれました。

大学別に見ていくと、北海道大、東大、金沢大、静岡県立大が新卒合格率100%を達成しました。私立新卒合格率では国際医療福祉大が1位でした。以下、2位「千葉科学大」、3位「名城大」、4位「東京理科大」、5位「高崎健康福祉大」の順でした。また、新卒・既卒両方を合わせた私立の総合は1位「名城大」、2位「京都薬科大」、3位「国際医療福祉大」、4位「医療創生大(旧いわき明星)」、5位「明治薬科大」となりました。

昔と違って、大学ごとに薬学部の偏差値の差が大きく開いてきました。そして、大学内でも実力差が開いてきています。そんな中での国家試験。問題は覚えるだけでなく、ますます考える能力を問われます。薬剤師としても実力が試される時代の到来です。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子